

令和3年度 当初予算

予算総額 763億2,232万円 (3.0%↑)

一般会計 386億4,963万円 (9.5%↑)

(1人当たり454,776円)

予算に関する詳しい資料は、市のホームページや図書館、行財政管理課で閲覧できます。

問合せ先 行財政管理課 ☎072-433-7266

令和3年度一般会計当初予算は、市の主な財源である市税が、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と比較し5.1%の減少となる中で、まちづくりの理念である「魅力かがやき 未来へつなぐまち 貝塚」の実現に向けた編成となりました。

新庁舎整備事業やJR東貝塚駅のバリアフリー化および周辺地区の整備事業、小学校屋内運動場空調設備設置事業など、未来を見据えた事業へ予算を重点的に配分し、投資的経費が増加したことなどにより、総額は386億4,963万円となり、前年度と比較して9.5%の増加となりました。

一方で、公営企業会計当初予算額は、市立貝塚病院における医療機器更新や下水道事業の雨水管渠築造工事の減少などにより、176億80万円となり、前年度と比較して6.2%の減少となりました。

一般会計：市税・地方交付税を主な財源として、教育・福祉・道路・公園など市が行う事務・事業を経理する中心的会計。

特別会計：特定の事業を行う場合、または一般会計と区分して経理する必要がある場合に設置する会計。

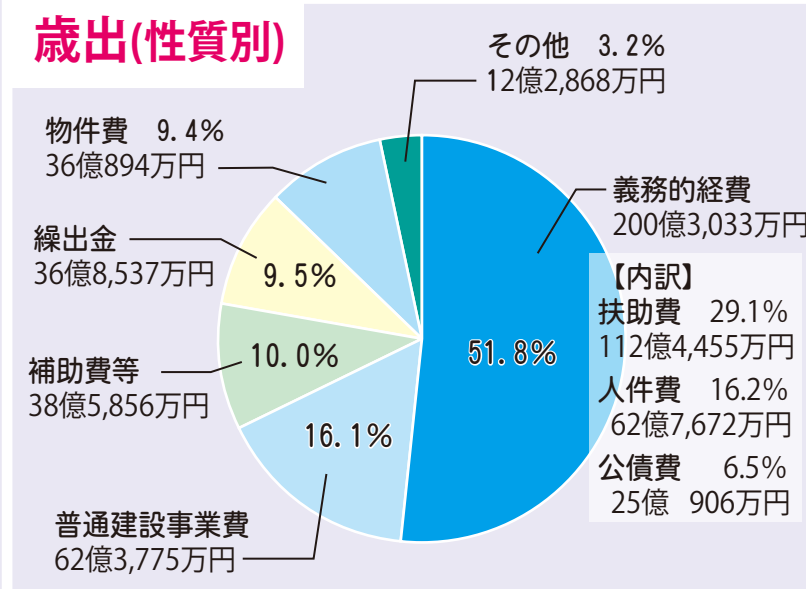
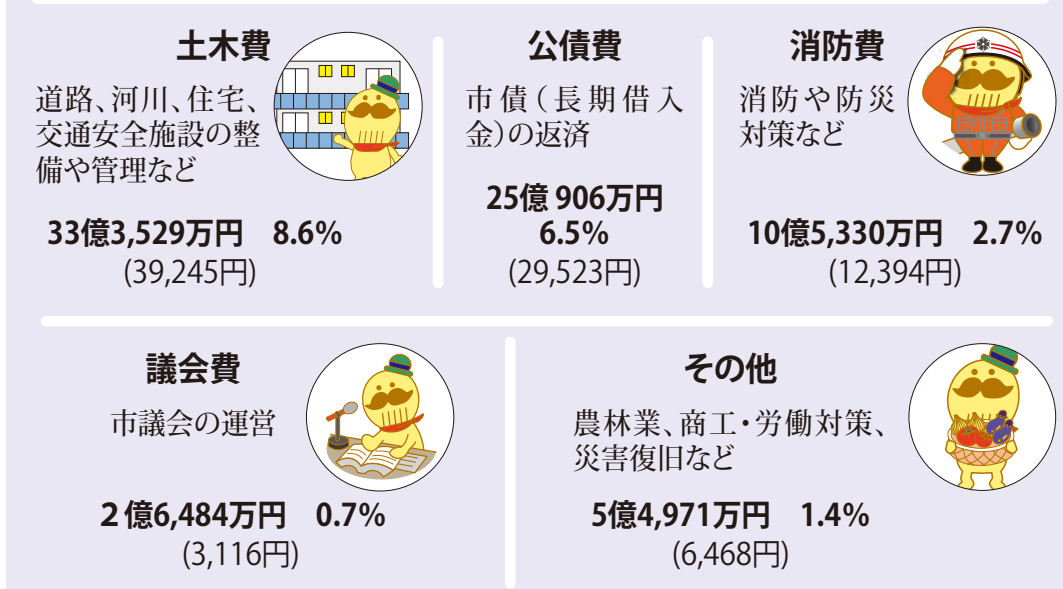
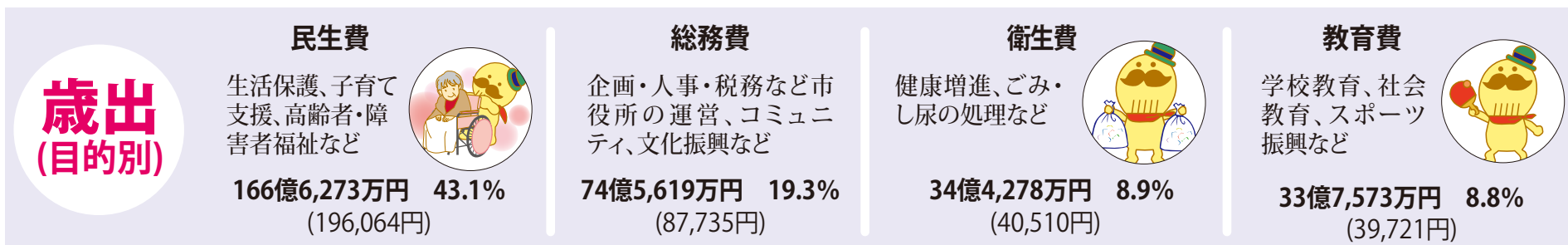
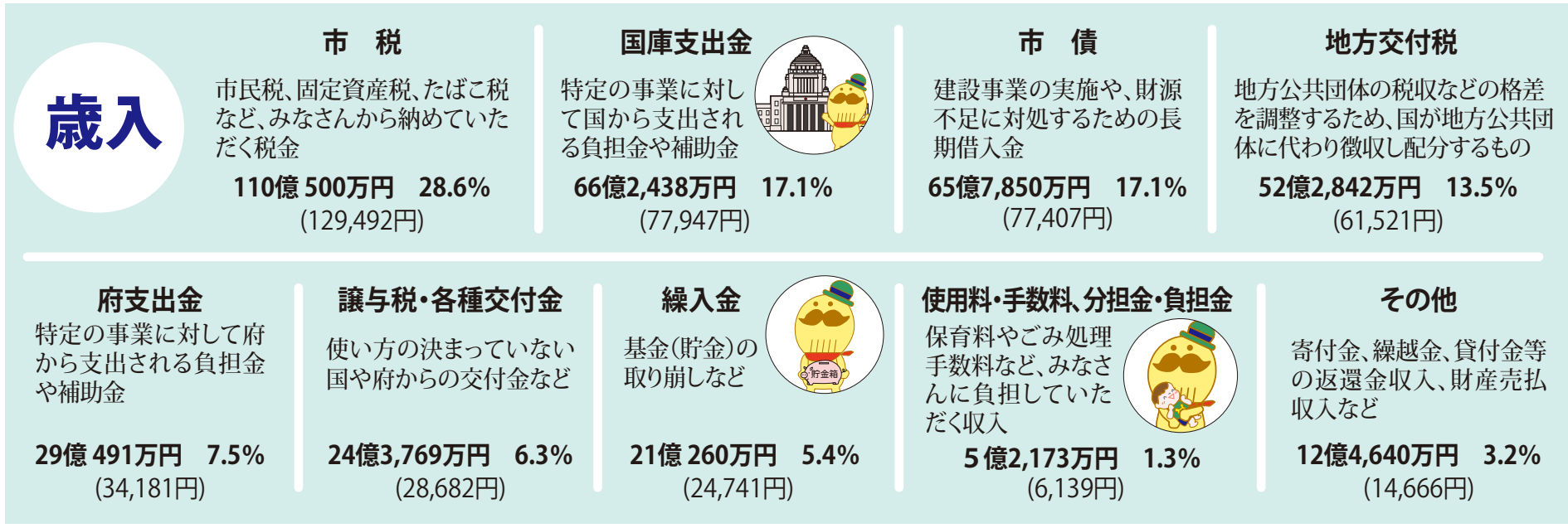
公営企業：地方公営企業法の適用を受け、原則としてその事業経費のすべてを事業収入で賄い、独立採算制をとる会計。

下記項目内の%は、一般会計予算に占める割合を示しています。()内は、1月末現在の住民基本台帳登録者数84,986人で割った市民1人当たりの金額です。

当初予算の概要

※金額は端数調整を行い万円単位で表示

区分	令和3年度	令和2年度	増減率(%)	
一般会計	386億4,963万円	352億9,099万円	9.5	
特別会計	国民健康保険事業	101億7,381万円	100億6,190万円	1.1
	財産区	9億5,284万円	9億7,137万円	-1.9
	介護保険事業	77億1,810万円	78億4,541万円	-1.6
	後期高齢者医療事業	12億2,714万円	11億9,513万円	2.7
	小計	200億7,189万円	200億7,381万円	-0.0
公営企業会計	水道事業	31億2,301万円	30億 271万円	4.0
	下水道事業	55億4,655万円	60億5,064万円	-8.3
	病院事業	89億3,124万円	97億 260万円	-8.0
	小計	176億 80万円	187億5,595万円	-6.2
合計	763億2,232万円	741億2,075万円	3.0	



※歳入と歳出については、金額の大きい順に表示しています。財政用語の説明は、ホームページをご覧ください。